



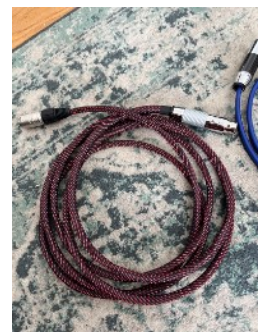
Familylabo Sound

コンサートホールをMasteringスタジオ化する 最高品質を追求した録音&PAシステム

音の表現をいかに理想的にエレクトリック化するか、電気信号となった表現をいかに理想的なサウンドとして届けるかこの最もシンプルで基本的な方針を追求し、実現していくのが本来のサウンドシステムです。元々、国家事業として始まった音響機器開発は、飽くなき探究と素晴らしい成果を上げた歴史があります。ところが1980年代を境いに商業的デジタルオーディオの世界的流れはデジタル化出来て見えるものを基準にし、本来の情緒的エネルギーは見えないので忘れ去られていくという後退を強いられて来たように感じられます。Familylaboでは新旧どちらも同じ土俵に捉え、ハードウェア選定するのみならず積極的に改良を加え、未来に必要な新しい機材や技術を開発していくことを指針とし、博物館クラスのビンテージから年々変化するテクノロジーを駆使し、無いものはオリジナルで制作することで未来への橋渡しをしたいと考えています。

1：表現者のオーディオケーブルはマイクケーブル、XLR ケーブル、TRS、スピーカーケーブルに至るまで Familylabo オリジナル制作のPC Triple C およびPCOCC A ケーブルしか使いません。

美味しい料理をするには美味しい水が基本であるように、音声信号の通り道であるオーディオケーブルのクオリティが悪くなくてはどんなに有名な



機器やビンテージマイクを部分的に使用しても本来の実力を発揮出来ないという認識から機器を繋ぐケーブルのみならず所有する多くの使用機材の内部配線に至るまで工場にスペックを特注したPC Triple Cをメインに改造されています。

2：メインとして使用するマイクは様々な表現に合わせて選定できるように、ビンテージマイク、その改造マイクないしオリジナルマイクです



音の入り口となるマイクは音質を最初に決定するものであり、適切なマイクの選定とセッティングすることなくしては入り口で音楽空間の多様な可能性を閉ざしてしまいます。

例えばU47で有名なNeumann M7カプセルは実はいくつかのバリエーションがあり、最初期のTelefunkenに搭載されたエレメントはU47のものよりもはるかに高域特性が良くさらにワイドレンジです。当方の大型ボトルマイクはこの最初期M7エレメントを使用し、U47の回路と当時のビンテージトランス、ビンテージ真空管で組み上げたオリジナルチューブマイクです。

また、ピンク・フロイドマイクとして知られるLOMOは「旧ソ連が国家事業でカスタムメイドしていた超高性能なマイクです。19A19は4本、そのトランジスタバージョンは様々なエレメントがあり万能コンデンサーマイクで多数ラインアップしています。



また、伝説的なWestern Electric 53Cマイク（2本）は空間のエネルギーを捉えるという視点からすると今だに世界唯一最高峰のマイクです。
ダイナミックマイクは主に、Sennheiser の白クジラです。



高性能ファンタム電源

コンタクトマイク、ミニマイクなど用途に合わせた様々なマイクをオリジナルの電源と組み合わせます。

3：マイクを選定したら表現に合わせて最適なマイクアンプ、ラインアンプと組み合わせます。
Western Electric 22Dないし22A ミキサー（4台） Western Electric HAEQ 2 ch。 有名なPultec はこれのライセンスモデルです。

歴史的なWestern Electricマイクアンプ





定番使用のGE真空管HA コンプ

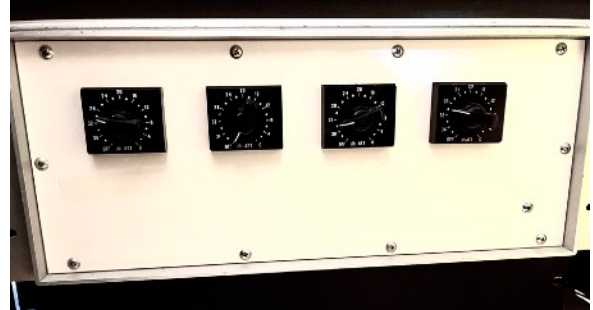


AMPEX はHA Mixerとして4台活用
Fairchild ゲルマニウムマイクアンプ



CBS 真空管HA コンプ6台でサラウンド





オリジナル6chラインアンプ
Westrex マイクアンプ組み込みアンプ8ch

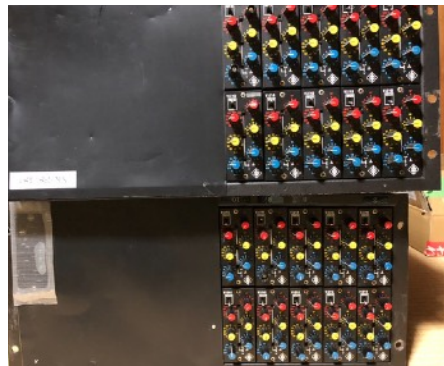


4：表現するサウンドに合わせたアナログミキサーを組み合わせます。
Studer 169,22、Amek BC2 (Neve デザインのアンジェラのモーバイルバージョン)



Soundtrack (Western Electric input トランスと組み合わせます)

5：マスタリング機器を組み合わせます。
様々なアウトプットにインサートしてマスターディスクを作るようにミックスアウト。



Neumannのレコードカッティング用マスタリングEQ16ch,Cinema Engineering パッシブマスターEQフル改造したKlein Hummel アクティブEQ, EMT放送局用コンプ、Eventide Omunipressor, Space station reverb, Fairchild パッシブEQ, Fairchild オプティカルコンプ,ほか



飛び道具的なSpace station

最も自然なリバーブと伝説的なZoom9200 & 最強のテープエコーRoland SRE555 & Eventide



6：オリジナル開発したチャンネルデバイダーを介してパワーセクションに送ります。

独自に開発したパワーアンプないしフルチューンしたビンテージパワー・アンプからなります。マスタリングスタジオ基準の最高級クオリティをPAのパワーアンプに使用。



7：ビンテージアルニコGaussスピーカーを使用したオリジナル設計のPAスピーカー



8：AltecおよびGauss同軸モニタスピーカー
マスタリングスタジオクオリティのビンテージスピーカーをモニタースピーカーに使用。

9：最高品質のADコンバーター

Tascam DSD98 DA98HRのDA ADのクオリティが現在でも最も自然と判断して全チャンネルに使用。



10：デジタルミキサー部

上記のDA信号を素直に処理できるミキサーとして
Tascamのデジタルミキサーを使用しています。録
音、インターネット配信のコントローラー部分を担
います。

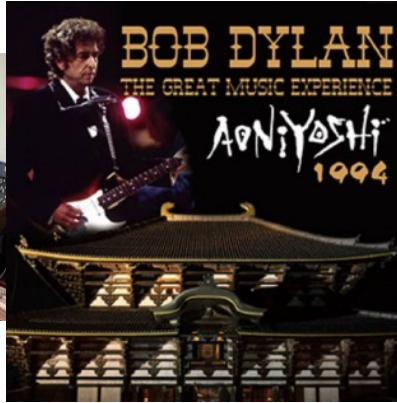


ショールーム& Factory at 井波
Familylabo sound を実際に予約試聴可能です



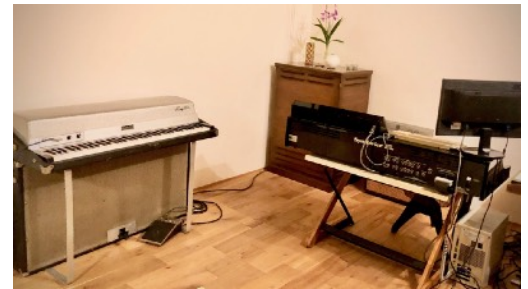
Concert production

Familylabo代表はThe Great Music Experience Executive Producer(UNESCO主催で世界中の
トップアーティストが東大寺に集い天平楽府とコラボレーションした伝説のコンサート)



レコーディングスタジオ

石川県能登半島の羽咋市のレコーディングスタジオ。



マスタリングルーム at 金沢 (編集プロダクション参照)

